



有限会社 吉田工業

vol.10

2023年10月15日発行





取締役会長

YOSHIDA MURAO 吉田 村男

1974年（昭和49年）に有限会社吉田工業を創業した取締役会長の吉田村男さんは、お客様からの絶大な信頼を基盤に、社員とともに会社を成長させてきました。2014年4月に長男の吉田忠克さんに経営のバトンを渡してから10年。あらためて、吉田工業を立ち上げたころの苦労や、忠克社長や社員の皆さんへの想いを語っていただきます。

どのような経緯で創業にいたったのでしょうか。

16歳のとき、集団就職で同級生たちと一緒に大手企業の工場（日立工業専修学校）に就職しました。そこは学校も兼ねていて、4年間で高校卒業の資格を得られる仕組みになっていたのです。しかし、忙しすぎて学業との両立は難しく、私をふくめてほとんどの学生が4年を待たずに辞めてし

まいました。

工場を退職した後、次の仕事として選んだのが、福島第一原子力発電所の建設工事です。工事業は初めてでしたが、入ってみたら自分の性に合っていたのか、一気にのめり込みました。私に仕事の基礎を教えてくれたに工事会社の社長からも、「この調子で覚えれば、お前もいつか独立できるぞ」と励ましていただき、その言葉に触発されて腕を磨いていきました。そして12年後、私を募ってくれていた同僚と2人で吉田工業を始めたのです。



創業されてから大変
だったことはありま
すか。また、その苦勞
をどのように乗り越
えてこられたか、
仕事に対する信念に
ついてぜひ教えて
ください。

創業にあたっては、「10年経つて成功しなければ諦める」と、妻と約束を交わしましたが、幸いにもバブル経済の波にのって、当初10年間はほとんどん仕事が入り、順調に成長していきました。ところが、間もなくバブルが崩壊して一気に資金繰りが悪化。あのころが一番つらい時期でした。同業者が次々に廃業していくなかで、なんとか持ちこたえられたのは本当に幸運だったと思います。

どん底を抜けだしたあとは少しずつ回復し、下請けの人数も増えていきました。私が長年心がけてきたのは、とにかくトラブルを起こさず、お客様に喜ばれる仕事

をするということ。その積み重ねで信用を得られたのだと自負しています。

工事は大変な仕事です。だからこそ、そこで働く人たちが楽しめる現場であるべき。皆が楽しめればトラブルも起きにくく、良い仕事もできます。そのためならば、私はいくらでも頭を下げてきました。「実るほど頭の下がる稲穂かな」ということわざがあります。が、上の立場になればなるほど謙虚にふるまい、新人や部下を大切にする。それが「親方」としてあるべき姿だと思っています。

忠克社長に引き継がれた際のエピソード
や、想いについて
教えてください。

息子には以前から、「私が65歳になつたら全てを譲る」と伝えてきて、その言葉とおりに社長を引き継いだのです。もちろん、そのときに息子が吉田工業を背負えるほ

ど成長していなければ先延ばしにするつもりでしたが、私が65歳を迎えたときには、もう十分に任せられる状態になっていました。

正直なところ、息子の経営手腕は私を上回っていると思っています。信用していますから、経営や社員教育に関して、私は一切口を出していません。相談されれば私なりの考えを伝えることもありますが、家でも仕事の話はほとんどしません。

私は社長のこと、社員のことも信頼しています。これからも怪我や事故のないよう、一丸となって取り組んでくれれば、きっと会社はもっと伸びていくでしょう。

ありがとうございました。最後に社員の方へ望むことをお聞かせください。

社員の方たちはよくがんばってくれていますから、このうえ新たに何かを求めるといことは

ありません。しいていえば、皆さんが事故なく、楽しく愉快に仕事をしてくれればと思います。どうか身体を大事にして、人生を楽しんでください。

激動の時代を乗り越え、安心して次世代へと引き継いだ吉田会長。忠克社長と社員の皆さんの幸せを願いながら、今日も温かいます。で吉田工業を見守っています。

企業情報

設立年：1987年5月12日

年商：12億円

※2023年3月時点

吉田村男会長 どんな人？

圧倒的な安心感、面倒見の良さ、心の広さ、吉田工業のお父さんの一面を持つ吉田会長。今回は4名の方に吉田会長の思い出や魅力を伺いました。



代表取締役社長
よしだ ただかつ
吉田 忠克さん



感謝や激励のメッセージをお願いします！

ヤンチャな若いころの僕をはじめ、取締役達をこまかで育ててくれてありがとう。

村男の名言

「親の言うことと冷酒は 後から効く」

「知恵のある者は知恵を出せ、知恵のない者は汗を出せ」

その方を一言で表すと？

親父

思い出エピソードを教えてください！

仕事で製品を壊しても笑って対応してくれました。

吉田会長の「すごいところ」を教えてください！

僕が若いころに仕事を面白く教えてくれました。



その方を一言で表すと？

パワフルじいちゃん

吉田会長の「すごいところ」を教えてください！

私が生まれるよりも前にじいちゃんが作った会社が今もこうして続いていることが改めてすごいと感じます！



感謝や激励のメッセージをお願いします！

じいちゃんが作った会社これからも守っていくね。

思い出エピソードを教えてください！

同じ家に住んでいるのになかなか顔を合わす機会がないので、たまにはゆっくりお酒でも一緒に飲もうね！



取締役副社長
よしだ やすか
吉田 穂華さん



吉田工業BBQ!
ここに開催!

HAVE A BBQ!!

先日開催したバーベキュー大会の当日の様子を紹介します！





代表取締役
社長

よしだ ただかつ
吉田 忠克

社長通信

～今、伝えたいこと～

vol.
1

当社の現在の動向やビジョン、そして社長の想いなど、皆さんに伝えたいあらゆる事柄を伝えるこの企画。今回は、現在注力しているプロジェクトの話題を中心に、社長から皆さんにお願いしたいことなどもお届けします！

最近のプロジェクト状況

どのようなときも未来へ進み続けられる会社にするために

バイオマス発電所の建設をはじめ、原子力部の再稼働に向けたプロジェクトや、ごみ焼却場のメンテナンスなどにも取り組んでいます。なぜ事業拡大をするのか。その答えは、すぐに方向転換をする政府に振り回されず、どのように転んでも会社を継続できる体制を整えるためです。

なかでも現在注力しているのは、バイオマス発電所の建設です。震災前まで続いた火力発電所の建設は、その国内シェアの大半を占める三菱重工によれば2025年までは行われなとのこと。そこで注目すべきなのがバイオマス発電所で、発電所建設は2年近くの長期に渡る安定受注工事でもあります。当社の技術力を売りに、受注獲得を目指しています。

施工管理者を増やしたいワケ

一括対応の強みを一層伸ばし、皆さんに還元をさて、メーカーが求めているのは、施工管理から技術者まで一括管理し、執り行える当社のような業者です。この強み

を活かしさらに受注率を上げるには、まずは施工管理者を増やすことから。そこで、技術力を持ち合わせた施工管理者を増やす必要があります。

なお、当社が施工管理のみを担当した場合の現場粗利率は、現場にもよりますが、10%前後。それを当社で一括対応すれば、最低でも30%の粗利率となります。利益が出ればそのぶん皆さんの待遇に反映されますから、一括対応のメリットは皆さんにもあるのです。

進捗状況

目標達成が遅れる可能性も視野に入れつつ、最大限の努力を果たそう

三菱重工が標準化を目指す2メガのバイオマス発電所を、当社の社員だけで対応できる体制を目指していますが、まだまだ遠い道のりです。体制確立の目標は2025年ですが、実際には2030年頃になるかもしれません。しかしながら、社員の皆さんの頑張りで少しでも縮めることは可能でしょう。現在、働き方改革により実働時間が減少しています。それによりステップが途中で抜け、技術の継承が遅れることも。このような非効率をいかに改善するか、ここにも注力が必要です！

社員の皆さんへのお願い

1. トータルサポートができるビジネスパーソンに！

工事だけで生き残る時代ではありません。ぜひ皆さんには、当社が実施するリスティング教育等々を活用し、電話対応や原価管理など、さまざまなスキルを身につけ、高め、技術や工事以外の場でもできることを探してほしいと思います。当社は将来を見据え、仕事の幅を広げています。皆さんは自身のスキルアップに努め、そして、自分を活かす場を見つけてください。

2. すべての鍵を握るのは「コミュニケーション力」

私をはじめとする取締役も現場に赴き皆さんに技術を伝えてい

ますが、物事を教える際に大切なことは、決して怒らないこと。相手に理解させることが目的ですから、怒ったところで何も解決しません。どうすれば相手に伝わるか。これを必死に考え、コミュニケーションをとっていくことが大切なのです。コミュニケーションがうまくいけば、施工管理もうまくいくものです。往々にして施工管理者は指示を出しっぱなしで終わる人が多い。それではミスも発生するはず。管理者としての責任を自覚し、工事が完了するまでしっかりとフォローをし、コミュニケーションによる信頼関係を積み重ねていくことの大切さに気づきましょう。

還暦おめでとう! ありがとう! 稲吉さん

吉田工業へ中途入社して2年。稲吉さんが還暦を迎えました!

おめでとうございます!40年に渡って業界に貢献してこられ、

今どのようなお気持ちなのでしょう?



取締役 上越事業所 所長

いなよし こういち

稲吉 甲一さん



「いつか完成する」という 信念と達成感で40年続いた

この業界で働き続けて、かれこれ40年になります。なぜ続けてこられたかという、恐らく建設現場や発電所などでものを作ったり直したりする仕事が、自分には合っていたからでしょう。

長い年月の間には、お客様にニーズに応えられなかったり、仲間が辞めていったりと、つらい時期もありました。工程が遅れ、夜に眠れなかった日も。しかし、終わらない工事はありません。「いつかは絶対完成する」という信念を持って、なんとか乗り越えてきました。

実際に1つの工事を終えたときの達成感、何ものにも変えがたいものです。さらにお客様から「吉田工業に頼んでよかった」「次の現場もお願いします」と言われると、非常に嬉しく思います。

支えてくれた 家族と仲間たちに感謝

昔は出張で家を空けることも多く、子どもが小さい頃はあまり一緒に過ごせませんでした。それでも支えてくれた家族と、立派に育ってくれた子どもには感謝の気持ちでいっぱいです。また、この仕事は一人ではできません。上司や先輩、同僚など支えてくれた仲間たちにも「ありがとう」と思っています。

楽しい職場づくりを 心掛けてきた

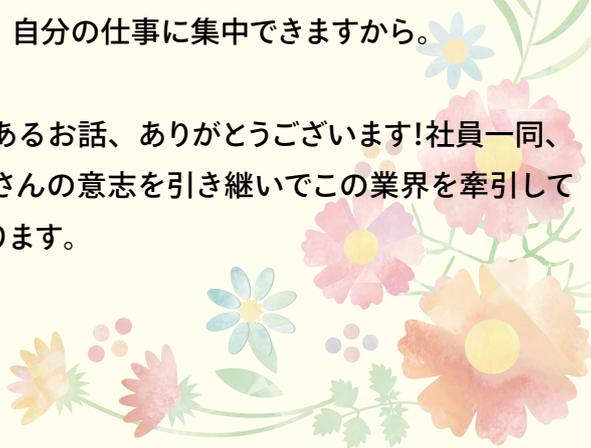
仕事をするにあたって心掛けてきたのは、楽しい職場にすること。イヤイヤ仕事をしていてもつまらないでしょう。私は少しでも楽しく仕事をするために、一緒に働く人と積極的にコミュニケーションをとってきました。

ちょっとでも周りを見るのが 早く成長するコツ

若手社員には、先輩の背中を見ながら、めげずにこの仕事を続けてほしいと思っています。

早く成長するコツは、自分の仕事に集中するだけでなく、少しでもいいので周りの人がやっていることを見ること。そうすると次のステップへ早く進んでいけるはずです。また、家族がいる人は家庭を大事にしてください。プライベートを安定させることで、自分の仕事に集中できますから。

含蓄あるお話、ありがとうございます!社員一同、稲吉さんの意志を引き継いでこの業界を牽引してまいります。



稲吉さん還暦おめでとうございます!

還暦おめでとうございます!

還暦を迎えられた稲吉さんへ、お二人からメッセージをいただきました!

From 代表取締役
社長 ^{よし だ ただ かつ} 吉田 忠克さん

還暦おめでとうございます。早いもので、稲吉さんと広野火力の5号建設工事であって、25年になります。稲吉さんがそのときに吉田工業を引っ張り上げてくれたから、今の吉田工業があります。また、震災(3.11)のときは、稲吉さんのお願いで3月16日から特攻隊で1Fに行きました。当時はとてもジェントルマンで、色々なことを教わりました。一緒に仕事ができ楽しく思っております。



From 上越
事業所 ^{は ぶか か おり} 羽深 香織さん



還暦おめでとうございます!

年齢を感じさせない、アクティブでとっても元気なおじいちゃん(^^)

今以上に体を大切にして、元気に頑張っていきましょう!

